

ふるさと講座・歴史系第2回目を実施しました。

「別海町歴史文化遺産を巡る（戦争遺産編）」

7月9日（土）参加者9名で実施しました。講師は当館文化財担当戸田博史主幹です。

はじめに、見学する町歴史文化遺産の歴史的背景、地域住民との関わり合い、残された経緯、保存の取り組みなど詳しい説明を受けました。

見学は、①No.6 在日米軍偵察爆撃機 RB29 プロペラブレード、②No.2 旧柏野尋常小学校奉安殿、③No.16 旧陸軍計根別第一飛行場 1号有蓋掩体（飛行場跡周辺）、④No.14 旧国鉄標津線上春別駅跡、⑤No.11 旧国鉄標津線床丹3の川鉄橋米軍機空襲跡の順に行いました。

現地でも、詳しい説明があり、町歴史文化遺産に対する理解が深まりました。



特別展「根室海峡から発見されたマンモスゾウ臼歯化石」開催中！

氷河期を代表する動物であるマンモスゾウの臼歯化石は、国内で12点しか発見されていません。その内5点は、根室海峡から、内3点は、野付半島沖からのものです。国内でも有数の発見地である根室海峡の臼歯化石を一堂に集め、特別展を開催し、発見の意義や学術的に価値が高いものであることを実物資料・解説パネル・ジオラマで紹介します。

1. 期間 令和4年7月6日（水）～9月25日（日）
2. 場所 郷土資料館第2展示室
3. 観覧料 郷土資料館観覧料 350円（高校生以下無料）で見学できます。



解説パネル



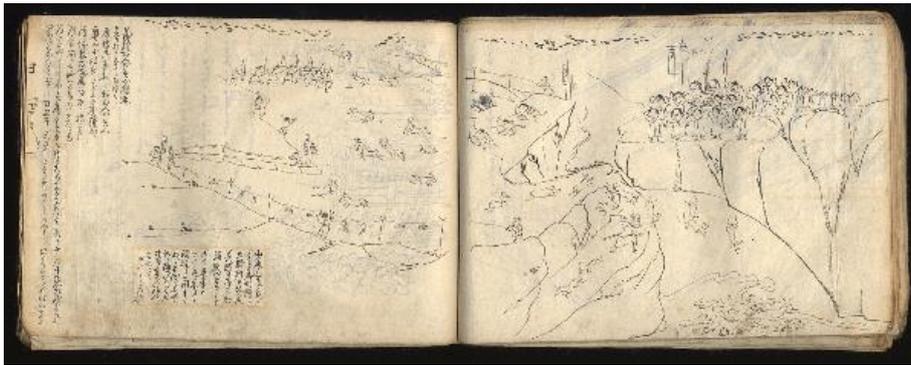
臼歯化石（実物）



ジオラマ

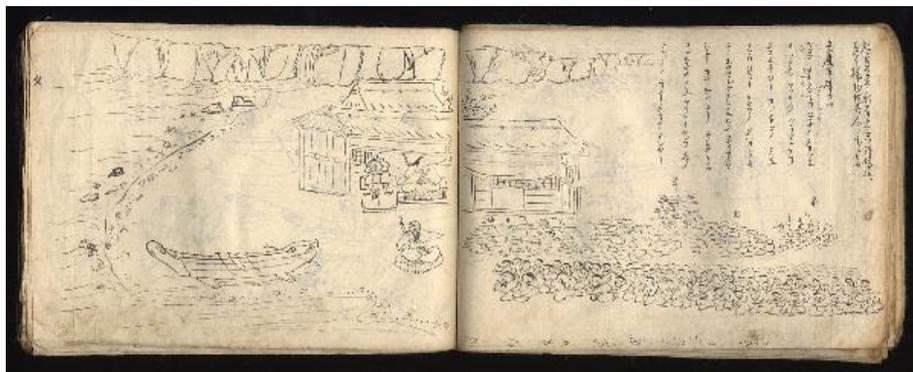
「加賀家文書等資料」

「蝦夷風俗図絵蝦夷語解説②」から見る「義経伝承」について～その4



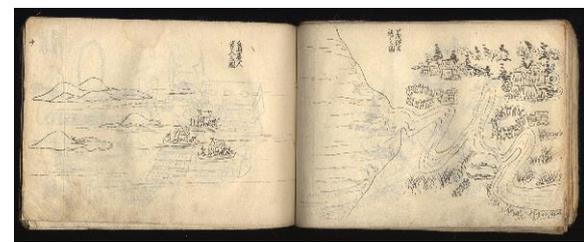
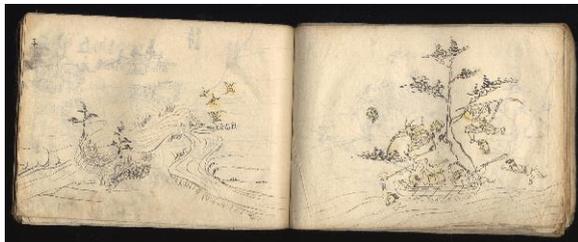
先月号からの続きになります。「義経は、百人の美女を連れ釧路領オコツナイにおいて鹿狩りをします。鹿を追いつめて崖から落とす様子が書かれています。」

「義経は、鹿狩りをした男たちに褒美を与えます。すると山から鹿が逃げ。女どもが騒いだので、治めようと義経は踊りました。それを見た一同も踊りだしました。この時よりアイヌは踊りを始めたと言われ、ウポポと言ったようだ」と書かれています。



これ以降の資料は、前々号で紹介した資料と同じ内容のものとなります。

この資料を書き残したのは、加賀伝蔵（アイヌ語通訳）と思われる。仕事以外のこういった伝承を記録し、アイヌたちに聞かせていたのではないかと想像出来ます。



【引用文献】2011年「アイヌ語別海地方方言資料集成～蝦夷風俗図絵蝦夷語解説2現代語訳～ 旭川アイヌ語研究会」

別海町郷土資料館だより No.277

発行日 令和4年8月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

マンモスゾウの特別展を開催しています。日本で発見されているおよそ半分の臼歯化石の実物を見ることが出来ますのでぜひ、ご来館ください。ジオラマについては、当館スタッフ手作りの力作です。マンモスゾウ以外にも当時生息していた動物もいます。